

リアルタイムな情報を取り入れわかりやすくお話しいただきます

日本経済の今 そしてこれから



日本経済は、消費増税後の消費の減速が懸念されるなか、相次ぐ甚大な自然災害による被害、また米中の貿易摩擦、英国のEU離脱問題、不安定な中東情勢などの世界の混乱により、厳しい状況に直面しているといえます。講座では、日本経済が今どんな状況にあり、これからどうなっていくのか、生活に影響があることは何かなど、リアルタイムな情報も取り入れながらわかりやすく講師の先生にお話しいただきます。

回	とき(全2回)	内 容	講 師
1	1月24日(金) 午前10時～正午	日本経済の今そしてこれから (前編)	読売新聞記者 いけなが たかし 池永 尚嗣さん
2	2月7日(金) 午前10時～正午	日本経済の今そしてこれから (後編)	

ところ 公民館東分館 1階集会室

対 象 市内在住・在勤・在学の方

定 員 40人(申込順)

参加費 無 料

申 込 12月18日(水) 午前9時から
電話または東分館窓口へ。

公民館東分館 042-384-4422

(講師プロフィール) 読売新聞記者、順天堂大学
国際教養学部非常勤講師(現代日本経済論)

新聞社では川崎支局、横須賀支局を経て経済部、東京証券取引
所、機械、重工業、貿易、郵政省(現・総務省)、建設省・運輸
省(同国土交通省)などを担当。盛岡と前橋の支局デスクを経て
甲府、静岡、さいたまの各支局長、紙面審査委員会委員を歴任し
た。横須賀支局では米海軍第7艦隊を担当。旧国鉄長期債務処
理や整備新幹線、日米航空交渉、日米海軍交渉も担当した。経済
記者としてのスタートは日経平均株価が史上最高値の3万
8900円をつけたとき。以後、株価は急降下し、バブル経済が
崩壊していった。「失われた10年」は経済記者としてのキャリ
アと重なる。